

関東部会 2022 年度部会研究会

-----4 月部会研究会-----

【日時】 2022 年 4 月 23 日（土） 13：00～17：00

【開催方法】 オンライン開催（駒澤大学）

【報告者および報告論題】

フリーセッション

コーディネーター：高田英亮（慶應義塾大学）、菅野佐織（駒澤大学）

研究発表：（報告 20 分 コメント 5 分 質疑 10 分）

報告（1） 「デジタル時代の市場志向に向けて」

報告者： 今井紀夫（一橋大学大学院）

コメンテーター：水越康介（東京都立大学）

報告（2） 「Human Asset Specificity, Physical Asset Specificity, and Direct Distribution」

報告者： 高田英亮（慶應義塾大学）、マーク・パリー（ミズーリ大学カンザスシティ校）

コメンテーター：金雲鎬（日本大学）

■第一部

テーマ：消費者行動

コーディネーター：坂下玄哲（慶應義塾大学）、西原彰宏（亜細亜大学）

研究発表：（報告 30 分、コメント 5 分、質疑応答 10 分）

報告（1） 「所有と獲得のジレンマ：物質主義傾向が高い消費者のシェアリングエコノミーへの参加に際して」

報告者：野村拓也（星槎道都大学）

コメンテーター：李旻泰（東洋大学）

報告（2） 「製品の擬人化が心理的所有感に及ぼす影響」

報告者：須田孝徳（早稲田大学商学学術院）

コメンテーター：久保田進彦（青山学院大学）

■第二部

テーマ：マーケティング・サイエンス

コーディネーター：山本品（慶應義塾大学）、寺本高（横浜国立大学）

研究発表：（報告 20 分、質疑応答 10 分）

報告 (1) 「An Analysis of Activating Communication on Website Between Users by the Propensity Score Considering the Heterogeneity of the Questioner」

報告者：佐々木舞香 (流通経済研究所／筑波大学大学院), 石橋敬介 (流通経済研究所), 尾崎幸謙 (筑波大学)

報告 (2) 「The Profit Impact of Marketing Analytics and Its Contingency Factors」

報告者：Bjoern Frank (早稲田大学)

-----6 月部会研究会-----

【日時】 2022 年 7 月 23 日 (土)

【場所】 慶應義塾大学三田キャンパス北館 3F 大会議室

※Zoom Meeting を用いたハイフレックス方式。

【報告者および報告論題】

◆◇◆ フリーセッション 13:00~14:20 ◆◇◆

※敬称略

【コーディネーター】 小野晃典 (慶應義塾大学)・田頭拓己 (一橋大学)

【研究発表】 (報告 20 分 コメント 10 分 質疑 10 分)

報告 (1) "How Does Standing High and Low Affect Consumers' Responses to Different Advertising Appeals?" (仮)

報告者：王カク (慶應義塾大学大学院) (カクは王へんに玉)

コメンテータ：石井裕明 (青山学院大学)

報告 (2) "Product Variety and Design in the Age of Peer-to-Peer Sharing" (仮)

報告者：善如悠介 (神戸大学)

コメンテータ：山本晶 (慶應義塾大学)

◆第一部 14:30~15:40◆

【テーマ】 マーケティング戦略

【コーディネーター】 井上淳子 (成蹊大学)、三浦俊彦 (中央大学)

【研究発表】 (報告 25 分、コメント 5 分、質疑応答 5 分)

報告 (1) 「超優良顧客に注目したリスク管理手法の提案～極値統計学のマーケティングへの活用」

報告者：上田雅夫 (横浜市立大学)

コメンテータ：熊倉広志 (中央大学)

報告(2) 「処理流暢性が店舗内消費者行動に及ぼす影響」

報告者：井上真里(中央大学)・李炘泰(中央大学)・李振(関西大学)

コメンテータ：須永努(早稲田大学)

◆第二部 15:50~17:00◆

【テーマ】マーケティング・コミュニケーション

【コーディネーター】広瀬盛一(東京富士大学)、松井剛(一橋大学)

【研究発表】(報告25分、質疑応答10分)

報告(1) 「ネイティブ広告研究の方向性：媒体比較のための理論的枠組みの探究」

報告者：田部溪哉(城西大学)

報告(2) 「ソーシャルメディアにおける炎上と消費者行動に関する研究」

報告者：田頭拓己(一橋大学)

-----9月部会研究会-----

【日時】2022年9月17日(土) 13:00-16:00

【開催方法】Zoomによるオンライン開催

【報告者および報告論題】

【テーマ】質的比較分析(QCA: Qualitative Comparative Analysis)

：流通・商業、マーケティング研究におけるQCAの可能性の検討と
アプリケーション fsQCAのハンズオン・セッション」

【コーディネータ】小野譲司(青山学院大学)、山下裕子(一橋大学)

【講師】金雲鎬(日本大学)、東伸一(青山学院大学)、横山斉理(法政大学/University of Stirling)

【セッションの目的】

質的比較分析(QCA: Qualitative Comparative Analysis)は、集合論とブール代数、ミルのカノンの発展形に依拠する方法論で、政治学の分野にそのルーツを持ちます。「複合因果」「等結果性」「因果非対称性」「必要条件と十分条件の峻別」といった特徴を備えたこの方法論は、マーケティング・ミックスや小売ミックス、(小売)ビジネスモデルといった複数・多数の要素で構成され、かつ要素間の相互作用と複雑な組み合わせ効果を考慮する必要のある研究対象を分析するにあたって有効な方法と考えられています。

また、従来の統計的因果推論の方法が苦手とする研究対象に適用することのできる代替的・補完的なアプローチとしても一部で期待されています。QCAは当初はSmall-to-medium Nの方法として登場しましたが、

現在では研究の目的によってLarge Nによる応用も目立っています。

本セッションでは、他の研究方法との関係も踏まえてQCAの特徴とその方法論的背景を共有した上で、流通・マーケティング領域におけるこの方法の可能性を展望するとともに、代表的なQCAのアプローチの標準的な手続きにしたがってサンプルデータの簡易的な分析と結果の解釈を行うハンズオンセミナーを行いたいと思います。

13:00-13:40

- ・ QCA の背景と基本的な考え方（存在論・認識論含む QCA の世界観、多変量解析との相違など）
- ・ 流通・マーケティング分野の研究対象と QCA の親和性
- ・ QCA のバリエーション

13:40-14:20

- ・ QCA の標準的な手続き
- ・ Azuma, Yokoyama, Kim (2022) の International Journal of Retail & Distribution Management 掲載論文を例にとりて少し発展的に fsQCA を用いた研究の紹介

14:20-14:35 休憩

14:35-16:00

- ・ ハンズオン：アプリケーション fsQCA を使った基本操作と QCA の結果の解釈

-----11 月部会研究会-----

【日時】 2022 年 11 月 12 日（土） 12:40～17:45

【会場】 青山学院大学青山キャンパス 9 号館 922 教室

【報告者および報告論題】

フリーセッション（12:40～14:00）

※敬称略

【コーディネーター】 安藤和代（千葉商科大学）、杉谷陽子（上智大学）

【研究報告】（報告 20 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

1. 事務局からのご挨拶、ご連絡（12:30～12:40）

2. 「VR を利用した近年のマーケティング研究の実態と課題」（12:40～13:20）

報告者：福田怜生（亜細亜大学）

コメントーター：外川拓（上智大学）

3. 「消費者市場におけるペット刺激の効果：存在脅威管理論による検討」（13:20～14:00）

報告者：速水建吾・芳賀悠基（早稲田大学大学院）

コメントーター：杉谷陽子（上智大学）

テーマセッション (14:00~17:45)

【テーマ】流通・マーケティングにおける歴史研究の意義(「流通・商業」「マーケティング理論・歴史」合同セッション)

【コーディネーター】東伸一(青山学院大学)、金雲鎬(日本大学)、石川和男(専修大学)、戸田裕美子(明治大学)

【研究報告】(報告40分)

1. 合同セッションの趣旨について(14:00~14:05)

2. 「マーケティングにおいて歴史研究はなぜ重要か」(14:05~14:45)

報告者: 薄井和夫(埼玉学園大学、埼玉大学名誉教授)

3. 「歴史科学の方法と理論科学、そして実践—批判的合理主義の観点から—」(14:45~15:25)

報告者: 堀越比呂志(慶應義塾大学名誉教授)

4. 「日本の流通政策の歴史的役割とその限界」(15:30~16:10)

報告者: 三村優美子(青山学院大学名誉教授)

5. 「日本の卸売企業進化の経営史的検討の試み—『流通革命』論とチャンドラー所説の再検証—」(16:10~16:50)

報告者: 佐々木聡(明治大学)

6. 討論と質疑応答(16:55~17:45)

—————

【参考資料】

薄井和夫(2022)「解題 誌上フォーラム『マーケティングにおいて歴史研究はなぜ重要か』『マーケティング史研究』第1巻第1号, pp. 2-7.

(https://www.jstage.jst.go.jp/article/jmhr/1/1/1_2/_article/-char/ja)

堀越比呂志(2022)「歴史科学の方法と理論科学、そして実践—批判的合理主義の観点から—」『マーケティング史研究』第1巻第2号, pp. 189-203.

(https://www.jstage.jst.go.jp/article/jmhr/1/2/1_189/_article/-char/ja)

東伸一・三村優美子・懸田豊・金雲鎬・横山斉理(編著)(2002)『流通と商業データブック - 理論と現象から考える』、有斐閣 【第13章】

(<http://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/9784641165991>)

佐々木聡(2022)「日本の卸売企業進化の経営史的検討の試み—『流通革命』論とチャンドラー所説の再検証—」『マーケティング史研究』第1巻第1号, pp. 105-117.

(https://www.jstage.jst.go.jp/article/jmhr/1/1/1_105/_article/-char/ja)

佐々木聡 (2019) 『中部有力卸売企業・伊藤伊の展開－多段階取引から小売直販への移行と全国卸あらたへの道』、ミネルヴァ書房

(<https://www.minervashobo.co.jp/book/b379592.html>)

-----3 月部会研究会-----

【日時】 2023 年 3 月 11 日(土) 13 : 00-15 : 30

【会場】 専修大学神田キャンパス 10 号館 8 階 10081 教室

【報告者および報告論題】

チュートリアルセッション (13 : 00-15 : 30)

【テーマ】 マーケティング・流通と統計的因果推論

【コーディネーター】 奥瀬喜之 (専修大学)、横山斉理 (法政大学)

【研究発表】

1. コーディネーターからのご挨拶、ご連絡

13:00-13:10

2. 講演「マーケティング・流通研究での統計的因果効果推定の応用と実例の紹介」

13:10-15:10

報告者：星野崇宏 (慶應義塾大学)

3. 質疑応答

15:10-15:30

関東部会 2021 年度部会研究会

-----4 月部会研究会-----

【日時】 2021 年 4 月 24 日 (土) 13 : 00~16 : 40

【開催方法】 Zoom によるオンライン開催

【報告者および報告論題】

フリーセッション 13 : 00~14 : 20

※敬称略

コーディネーター：菅野佐織 (駒澤大学)、斎藤嘉一 (明治学院大学)

研究発表 (報告 20 分 コメント 10 分 質疑 10 分)

報告 (1) : 「ニューノーマル時代における日本の小売イノベーション研究に関する理論的考察と今後の課題」

報告者 : 中見真也 (神奈川大学)

コメンテーター : 近藤公彦 (小樽商科大学)

報告 (2) : 「サイコグラフィックとサブスクリプション—制御焦点理論に焦点を当てて—」

報告者 : 太宰潮 (福岡大学)

コメンテーター : 外川拓 (上智大学)

テーマセッション 14 : 30 ~ 16 : 40

「消費者行動」、「マーケティング・サイエンス」合同セッション

※敬称略

■第一部 14 : 30 ~ 15 : 30

テーマ : 消費者行動

コーディネーター : 坂下玄哲 (慶應義塾大学)、杉谷陽子 (上智大学)

研究発表 (報告 20 分 質疑 10 分)

報告 (1) : 「経済悪化情報が高カロリー食品への潜在的/顕在的な選好/回避に及ぼす効果」

報告者 : 井上裕珠 (日本大学)

報告 (2) : 「クチコミが組織の購買意思決定に及ぼす影響 : 展望と今後の課題」

報告者 : 菊盛真衣 (立命館大学・慶應義塾大学)、石井隆太 (立命館大学)

■第二部 15 : 40 ~ 16 : 40

テーマ : マーケティング・サイエンス

コーディネーター : 清水聰 (慶應義塾大学)、山本晶 (慶應義塾大学)

研究発表 (報告 20 分 質疑 10 分)

報告 (1) : 「スマートフォン起動ログ分析による消費者ウェルビーイングの検討-COVID-19のアウトブレイクにおける創発的消費者の行動-」

報告者 : 西本章宏 (関西学院大学)、勝又壮太郎 (大阪大学)、本橋永至 (横浜国立大学)

報告 (2) : 「プロ野球ファンのツイートから「熱狂のメカニズム」を探る」

報告者 : 水野誠 (明治大学)、佐野幸恵 (筑波大学)、笹原和俊 (東京工業大学)

-----7 月部会研究会-----

【日時】 2021 年 7 月 10 日 (土) 13 : 00 ~ 16 : 30

【開催方法】 Zoom によるオンライン開催

【報告者および報告論題】

フリーセッション 13:00~14:20

※敬称略

コーディネーター：小野晃典（慶應義塾大学）、久保知一（中央大学）

研究発表（報告 20分 コメント 10分 質疑 10分）

報告（1）：「カスタマイゼーションの失敗が消費者の製品選好に及ぼす影響」

報告者：岩間雄亮（慶應義塾大学大学院）、北澤涼平（慶應義塾大学大学院）、小野晃典（慶應義塾大学）

コメントーター：竹内亮介（東洋大学）

報告（2）：「チェーン小売企業における需要不確実性と出店地域の選択」

報告者：西川みな美（帝京大学）

コメントーター：久保知一（中央大学）

テーマセッション 14:30~16:40

「マーケティング戦略」、「マーケティング・コミュニケーション」合同セッション

※敬称略

■第一部 14:30~15:40

テーマ：マーケティング戦略

コーディネーター：三浦俊彦（中央大学）、井上淳子（成蹊大学）

研究発表（報告 20分 コメント 10分 質疑 20分）

※報告1と報告2の後に2つの報告に対するコメントおよび質疑を行います。

報告（1）：「ブランド・インキュベーション戦略：概要とフレームワーク」

報告者：鈴木和宏（小樽商科大学）、西原彰宏（亜細亜大学）、圓丸哲麻（大阪市立大学）

コメントーター：三浦俊彦（中央大学）

報告（2）：「ブランド・インキュベーション戦略：スタートアップブランド「X-mobile」の事例」

報告者：新倉貴士（法政大学）

コメントーター：三浦俊彦（中央大学）

■第二部 15:50~16:30

テーマ：マーケティング・コミュニケーション

コーディネーター：久保田進彦（青山学院大学）、広瀬盛一（東京富士大学）

研究発表（報告 20分 コメント 10分 質疑 10分）

報告（1）：「動画広告における言語情報の提示が消費者反応に与える影響」

報告者：劉玉婷（リュウ ギョクテイ）（早稲田大学大学院）

コメントーター：渋瀬雅彦（横浜商科大学）

-----11 月部会研究会-----

【日時】2021年11月6日(土) 13:00~17:00

【開催方法】Zoomによるオンライン開催

【報告者および報告論題】

フリーセッション：13:00~14:30

※敬称略

コーディネーター：安藤和代(千葉商科大学)、柴田典子(横浜市立大学)

研究発表(報告20分、コメント10分、質疑10分)

13:00~13:40

報告(1)「オムニチャネルにおける消費者買物価値：中国の事例」

報告者：王 慧娟(法政大学大学院)

コメントーター 西原彰宏(亜細亜大学)

13:40~14:20

報告(2)「オンライン環境における製品の提示形式が重さ知覚に及ぼす影響」

報告者：權純鎬(早稲田大学)、須田孝徳(早稲田大学)、野村拓也(学習院大学大学院)

コメントーター 朴宰佑(中央大学)

テーマセッション：14:30~17:00

「流通・商業」「マーケティング理論・歴史」合同セッション

※敬称略

コーディネーター：東伸一(青山学院大学)、横山斉理(法政大学)、水越康介(東京都立大学)、戸田裕美子(日本大学)

第一部 研究発表(報告30分、質疑10分)

第二部 特別講演(講演45分、質疑15分)

■第一部

14:30~15:10

報告(1)「戦前期の百貨店における返品制の実態分析」

報告者：岡野純司(愛知学院大学)

15:10~15:50

報告(2)「百貨店の取引制度 -戦後復興期から高度経済成長期を中心として」

報告者：河田 賢一(常葉大学)

■第二部

16：00～17：00（講演 45 分、質疑 15 分）

特別公演「 デジタルパブリッシングが変える出版流通」

講演者：新名 新（株式会社メディアドゥ 取締役副社長 COO）

-----チュートリアルセッション-----

【日時】 2022 年 3 月 12 日(土) 13：00～15：30

【会場】 Zoom によるオンライン開催

【テーマ】 優れたレビュー論文の書き方ーメタ分析を中心にー

【コーディネーター】 奥瀬喜之（専修大学）、金雲鎬（日本大学）

【研究発表】

13:00-13:10

解題

「優れたレビュー論文とは何か」

金 雲鎬（日本大学）・奥瀬 喜之（専修大学）

13:10-14:30（報告 70 分、質疑応答 10 分）

講演（1）「メタ分析論文の書き方」

国里 愛彦（専修大学・人間科学部心理学科）

14:40-15:30（報告 40 分、質疑応答 10 分）

講演（2）「マーケティング分野におけるメタ分析論文」

石田 大典（日本大学・商学部）

関東部会 2020 年度部会研究会

-----4 月部会研究会-----

※新型コロナ・ウィルス感染拡大防止のため中止

-----7 月部会研究会-----

※新型コロナ・ウィルス感染拡大防止のため中止

-----9 月部会研究会-----

【日時】2020年9月26日(土) 13:00~17:00

【開催方法】Zoomによるオンライン開催

【報告者および報告論題】

フリーセッション 13:00~14:10

※敬称略

コーディネーター：小野晃典（慶応義塾大学）、菅野佐織（駒澤大学）

プログラム委員からの連絡事項（10分）

研究発表（報告20分 質疑10分）

報告(1)：「快楽品、抽象的思考および罪悪感」

報告者：石川佳子（一橋大学大学院）

報告(2)：「店舗接客スタッフによる来店者への声掛け行動の効果についての実証研究」

報告者：千葉貴宏（関西大学）

テーマセッション 14:20~17:00

「消費者行動」、「マーケティング・サイエンス」合同セッション

※敬称略

◆第一部 14:20~15:40◆

テーマ：消費者行動

コーディネーター：坂下玄哲（慶応義塾大学）、杉谷陽子（上智大学）

プログラム委員からの連絡事項（10分）

研究発表（報告20分 コメント10分 質疑10分）

報告(1)：「消費者の媒体選択における影響要因の検討」

報告者：権純鎬（早稲田大学）

コメンテーター：澁谷覚（学習院大学）

報告(2)：「非発言者の集積が持つ影響力：SNS上の消費者間情報伝達行動の実証研究」

報告者：松井彩子（一橋大学大学院）

◆第二部 15:50~17:00◆

テーマ：マーケティング・サイエンス

コーディネーター：清水聡（慶応義塾大学）、山本晶（慶応義塾大学）

プログラム委員からの連絡事項（10分）

研究発表（報告20分 質疑10分）

報告(1)：「不確実な状況下での事例とシナリオによる意思決定」

報告者：郷香野子（跡見学園女子大学）

報告(2)：「ご当地キャラの支持構造に関する実証研究」

報告者：野澤智行（法政大学専門職大学院）

-----10月部会研究会(関東・関西部会共同の特別企画)-----

【日時】2020年10月17日（土）13:00～17:00

【開催方法】Zoomによるオンライン開催

【報告者および報告論題】

事務局からの挨拶・連絡 13:30～

研究報告（自由論題） 13:40～

報告：「19世紀西欧での伝統的大学と新興工科大学の学位授与競争：自然哲学が近代科学の基礎領域を事業ドメインにしていく過程」

報告者：入江信一郎（京都工芸繊維大学）

特別企画 15:00～

田村正紀先生（神戸大学名誉教授）講演会

「流通研究の新方法論：過程追跡とQCAは何を狙っているのか（仮）」

-----11月部会研究会-----

【日時】2020年11月14日（土）13:00～16:10

【開催方法】Zoomによるオンライン開催

【報告者および報告論題】

フリーセッション 13:00～14:30

※敬称略

【コーディネーター】安藤和代（千葉商科大学）、柴田典子（横浜市立大学）

【事務局からのご挨拶・ご連絡】（5分）

【研究発表】（報告20分、コメント10分、質疑10分）

報告(1)：「製品に対する消費者の知覚リスクと製品の季節性による消費者の価格感度及び受容度変化」

報告者：ソン・ジュヒ（早稲田大学大学院商学研究科）

コメンテーター：白井美由里（慶應義塾大学）

報告(2)：「消費者の新製品採用インスピレーション介在モデル試論」

報告者：落原大治（法政大学大学院）

コメンテーター：田嶋規雄（拓殖大学）

【休憩】(10分)

テーマセッション 14:40~16:10

「流通」「理論・歴史」合同セッション

※敬称略

【コーディネーター】東伸一(青山学院大学)、横山斉理(法政大学)、水越康介(東京都立大学)、戸田裕美子(日本大学)

【研究発表】(報告30分、質疑10分)

【事務局からのご挨拶・ご連絡】(5分)

報告(1):「ユニクロの安定成長はいかに実現したか? 過程追跡法(Process-Tracing Method)を用いた因果メカニズムの考察」

報告者:金雲鎬(日本大学)、東伸一(青山学院大学)、横山斉理(法政大学)

報告(2):「マーケティング研究における歴史的マクロ現象の捉え方の一考察」

報告者:石澤泉(東京都立大学大学院)

-----3月部会研究会-----

【日時】2021年3月17日(水)18:30~20:30

【開催方法】Zoomによるオンライン開催

【報告者および報告論題】

チュートリアルセッション(18:30~20:30)

※敬称略

セッションテーマ:実務視点からの流通研究

コーディネーター:芳賀 康浩(青山学院大学)、寺本 高(横浜国立大学)

セッションのねらい:寺本 高(横浜国立大学)(5分)

【講演】

1.「日本の流通業の近年のトピック:寡占化,業態間競争,オンライン・デジタル対応」
(18:40~19:30)

講師:山崎泰弘(流通経済研究所)

2.「コロナ禍における消費者行動と流通業の対応」(19:40~20:30)

講師:鈴木雄高(流通経済研究所)

関東部会 2019年度部会研究会

-----4 月部会研究会-----

【日時】 2019 年 4 月 20 日（土） 10:00～17:40

【場所】 上智大学四ツ谷キャンパス 2 号館 309 教室

【報告者および報告論題】

フリーセッション（10:00～11:45）

コーディネーター：横山 斉理（法政大学）、小野 晃典（慶應義塾大学）

研究発表（報告 25 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

報告(1)：「広告回避意思決定における消費者の動機づけの役割」

報告者：竹内 亮介（東洋大学）

コメンテーター：石崎 徹（専修大学）

報告(2)：「消費者の買物行動におけるオンラインチャネルの利用意図：制御焦点理論による考察」

報告者：石井 隆太（福井県立大学）、菊盛 真衣（立命館大学）、小野 晃典（慶應義塾大学）

コメンテーター：金 雲鎬（日本大学）

テーマセッション 1（13:10～15:15）

テーマ：マーケティング・サイエンス

コーディネーター：守口 剛（早稲田大学）、寺本 高（横浜国立大学）

研究発表：（報告 40 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

報告(1)：「階層化した項目反応モデルによる計画・非計画購買率の推定」

報告者：石橋 敬介（流通経済研究所／筑波大学大学院）

コメンテーター：清水 聡（慶應義塾大学）

報告(2)：「環境マーケティングの利益性に関する国際比較」

報告者：アウグスト・グループ（上智大学大学院）、ビョーン・フランク（早稲田大学）

コメンテーター：西尾 チヅル（筑波大学）

テーマセッション 2（15:30～17:40）

テーマ：消費者行動

コーディネーター：坂下 玄哲（慶應義塾大学）、杉谷 陽子（上智大学）

研究発表（報告 40 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

報告(1)：「豊富な選択肢がもたらす知覚多様性に関する影響」

報告者：河股 久司（早稲田大学大学院）

コメンテーター：石井 裕明（成蹊大学）

報告(2)：「合意に達しない市場カテゴリーの創発：渋谷系音楽を事例として」

報告者：朝岡 孝平（一橋大学大学院）

コメンテーター：大竹 光寿（明治学院大学）

-----7月部会研究会-----

【日時】2019年7月13日（土）10:30～17:30

【場所】拓殖大学 文京キャンパス C館5階 C501教室

【報告者および報告論題】

フリーセッション（10:30～11:15）

コーディネーター：田嶋規雄（拓殖大学）、長島広太（東洋大学）

（報告25分、コメント10分、質疑10分）

報告(1)：「日本型コンビニエンスストアの顧客満足とサービス品質に関する実証研究 ―セブンイレブンを中心に―」

報告者：キム・リーナ（中央大学大学院）

コメンテーター：小野譲司（青山学院大学）

テーマセッション1（12:20～15:20）

テーマ：マーケティング戦略

コーディネーター：熊倉広志（中央大学）、井上淳子（成蹊大学）

研究発表（報告40分、コメント10分、質疑10分）

報告(1)：「武道は教育か―スポーツ・マーケティングの視点から―」

報告者：富田健司（同志社大学）

コメンテーター：井上淳子（成蹊大学）

報告(2)：「How Does Warehouse Automation Contribute to Multichannel Retailers' Performances?」

報告者：田頭拓己（一橋大学）

コメンテーター：鳥居昭夫（中央大学）

報告(3)：「利用可能な資源量の変化が新製品の創造性へ及ぼす影響

―マーケティング活動と資源の制約の関係に対するさらなる理解に向けて―」

報告者：堀口哲生（慶應義塾大学大学院）

コメンテーター：石田大典（日本大学）

テーマセッション2（15:30～17:30）

日本マーケティング学会ブランド&コミュニケーション研究会、

日本広告学会関東部会共催

テーマ：マーケティング・コミュニケーション

コーディネーター：久保田進彦（青山学院大学）、安藤和代（千葉商科大学）

研究発表（解題 5 分、報告 90 分、質疑 30 分）

テーマ：「デジタル・マーケティングの実践と理論フレーム」

司会：久保田進彦（青山学院大学）

1. 【5 分】「解題」西川英彦（法政大学）
2. 【55 分】「デジタル・マーケティングの実践」石井龍夫（C Channel 監査役）
3. 【30 分】「デジタル・マーケティングの理論フレーム」西川英彦（同上）・澁谷覚（学習院大学）
4. 【30 分】「質疑」

-----9 月部会研究会-----

【日時】2019 年 9 月 14 日（土）14:30～17:40

【場所】専修大学神田校舎 5 号館 6 階 561 教室

【報告者および報告論題】

チュートリアルセッション（14:30～17:40）

テーマ：「国際ジャーナルへの論文投稿に向けて」

コーディネーター：奥瀬喜之（専修大学）、石田大典（日本大学）

【講演】

1. 「研究のシリーズ化と投稿戦略」（14:30～16:00）
講師：川上智子（早稲田大学教授）
2. 「前向きなメンタル；甲子園を夢見る野球少年 vs. 国際ジャーナルを目指す研究者」
（16:10～17:40）
講師：阿部周造（横浜国立大学名誉教授）

-----11 月部会研究会-----

【日時】2019 年 11 月 9 日（土）10：45～16：50

【会場】青山学院大学 青山キャンパス 総研ビル（14 号館） 5F 14509 教室

【報告者および報告論題】

フリーセッション 10：45～11：50

※敬称略

コーディネーター：柴田典子（横浜市立大学）、結城祥（中央大学）

コーディネーターからの連絡事項など（5分）

研究発表（報告40分 コメント10分 質疑10分）

テーマ：「消費者との共創が購買プロセスに与える影響」

報告者：西大輔（関東学園大学）

コメントーター：西川英彦（法政大学）

テーマセッション 12:50~17:00

「流通・商業」、「マーケティング理論・歴史」合同セッション

※敬称略

合同セッションの趣旨について（10分）

◆第一部 12:50~14:55◆

テーマ：流通史

コーディネーター：戸田裕美子（日本大学）、水越康介（首都大学東京）

研究発表（報告40分 質疑15分）

報告(1)：「戦後の業務用酒類卸流通の成立と展開」

報告者：大崎恒次（専修大学）

報告(2)：「駅前商業空間形成に対する『民衆駅』の貢献」

報告者：藤井英明（総務省）

◆第二部 15:10~17:00◆

テーマ：日本の流通政策 — 過去、現在、そして未来 —

コーディネーター：横山斉理（法政大学）、東伸一（青山学院大学）

研究発表（報告30分）

報告(1)：「日本の流通政策の回顧と展望」

報告者：三村優美子（青山学院大学）

討論（75分）

テーマ：「日本の流通政策 — 過去、現在、そして未来 —」

討論者：石原武政（大阪市立大学 名誉教授）、渡辺達朗（専修大学）、三村優美子（青山学院大学）

司会：東伸一（青山学院大学）

-----3月部会研究会-----

※新型コロナ・ウィルス感染拡大防止のため中止

【日時】2020年3月21日（土）14:00~17:00

【場所】専修大学神田校舎2号館1階102教室

チュートリアルセッション 14:00~17:00

※敬称略

【テーマ】「実務視点からの流通研究」

【コーディネーター】奥瀬 喜之（専修大学）、寺本 高（横浜国立大学）

【講演】

1. 「セッションのねらい」（14：00～14：10）

コーディネーター： 寺本 高（横浜国立大学）

2. 「日本の流通業界の最近のトピック」（14：10～15：20）

講師： 山崎 泰弘（流通経済研究所常務理事）

3. 「日本の流通におけるデータ活用の実態」（15：30～16：50）

講師： 三坂 昇司（流通経済研究所主任研究員）

4. 「セッションのまとめ」（16：50～17：00）

コーディネーター： 寺本 高（横浜国立大学）

関東部会 2018 年度部会研究会

-----4 月部会研究会-----

【日時】2018 年 4 月 21 日（土）13:30～17:30

【場所】上智大学四ツ谷キャンパス 2 号館 4 階 414 教室

【報告者および報告論題】

フリーセッション（13：30～15：20）

コーディネーター：原頼利（明治大学）、久保知一（中央大学）

研究発表（報告 30 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

報告(1)：「立地 vs 組織能力：店舗の存続を支える要因は何か」

報告者：西川みな美（中央大学大学院 商学研究科）

コメンテーター：横山斉理（法政大学）

報告(2)：「企業の競争的マーケティング意思決定：その促進／抑制要因に関する実証研究」

報告者：中村世名（慶應義塾大学大学院 商学研究科）

コメンテーター：結城祥（中央大学）

テーマセッション（15：30～17：30）

テーマ：「消費者行動」

コーディネーター：坂下玄哲（慶応義塾大学）、杉谷陽子（上智大学）

研究発表（報告 40 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

報告(1)：「友人との意思決定－集団意思決定プロセスへの参加意図の形成要因」

報告者：豊田紗綾（一橋大学大学院 商学研究科）

コメントーター：北村真琴（東京経済大学）

報告(2)：「背景色が商品の触覚評価および選好に及ぼす影響－商品の擬人化性に着目して」

報告者：西井真祐子（早稲田大学大学院 商学研究科）

コメントーター：外川拓（千葉商科大学）

-----6 月部会研究会-----

【日時】 2018 年 6 月 16 日（土） 14:00～17:00

【場所】 専修大学神田校舎 5 号館 4 階 542 教室

【報告者および報告論題】

テーマセッション（14:00～17:00）

テーマ：「マーケティングの理論・歴史」

コーディネーター：水越康介（首都大学東京）、石川和男（専修大学）

研究発表（報告 40 分、コメント 5 分、質疑 10 分）

報告(1)：「マレーシアにおける国民車とトヨタのマーケティング」

報告者：田中智晃（東京経済大学）、星埜道夫（元マレーシアトヨタ車両生産会社：Assembly Services Sdn. Bhd.）

コメントーター：石川和男（専修大学）

報告(2)：「サービス・ドミナント・ロジックからカスタマー・ドミナント・ロジックへ
－ノルディック学派の研究の進展に注目して－」

報告者：今村一真（茨城大学）

コメントーター：村松潤一（岡山理科大学）

報告(3)：「現代のマーケティング論を問う」

報告者：関根孝（専修大学）

コメントーター：塚田朋子（東洋大学）

-----7 月部会研究会-----

【日時】 2018 年 7 月 14 日（土） 13:30～17:45

【場所】 拓殖大学 文教キャンパス C 館 5 階（2 階が地上階になります）

【報告者および報告論題】

フリーセッション (13:30~14:20)

コーディネーター：田嶋規雄 (拓殖大学)、長島広太 (東洋大学)

研究発表 (報告 30 分、コメント 10 分、質疑 10 分)

報告(1)：「新規性の高い新製品開発におけるプロジェクト・メンバーの意思決定パターンとその成果」

報告者：堀口哲生 (慶應義塾大学大学院)

コメントーター：石田大典 (日本大学)

テーマセッション (14:30~17:45)

日本広告学会関東部会共催

テーマ：「マーケティング・コミュニケーション」

コーディネーター：久保田進彦 (青山学院大学)、安藤和代 (千葉商科大学)

研究発表 (報告 40 分、コメント 10 分、質疑 10 分)

報告(1)：「店舗内における非計画購買の実態と逐次選択の影響」

報告者：赤松直樹 (明治学院大学)

コメントーター：奥瀬喜之 (専修大学)

15:30~15:45 休憩

報告(2)：「スポンサードコンテンツ形式の広告表現に関する研究
：表現研究と媒体研究の架橋に向けた要点整理

報告者：田部溪哉 (城西大学)

コメントーター：中野香織 (駒澤大学)

報告(3)：「ライフスタイル消費からネットライフ消費へ
：有態体験消費から無態情報依存消費へ」

報告者：和田充夫 (慶應義塾大学名誉教授)

コメントーター：久保田進彦 (青山学院大学)

-----9月部会研究会-----

【日時】2018年9月22日(土) 14:00~17:10

【場所】早稲田大学 早稲田キャンパス 8号館 3階 309教室

チュートリアルセミナー (14:00~17:10)

テーマ：「先達に学ぶ研究者のキャリア形成」

コーディネーター：守口剛 (早稲田大学)、奥瀬喜之 (専修大学)

【講演】

1. 「マーケティングと消費者行動」(14:00～15:30)

講師：池尾恭一（明治学院大学教授、慶應義塾大学名誉教授）

2. 「あせらずに研究力をアップする方途と取り組み」(15:40～17:10)

講師：阿部周造（横浜国立大学名誉教授）

-----11 月部会研究会-----

【日時】2018年11月10日（土）10:05～17:40

【場所】青山学院大学 青山キャンパス 総研ビル 大会議室

【報告者および報告論題】

フリーセッション（10:05～12:00）

コーディネーター：柴田典子（横浜市立大学）、石田大典（日本大学）

研究発表（報告35分、コメント10分、質疑10分）

報告(1)：「大企業における資源獲得のための正当化を利用した組織間の新規事業開発
：成功と失敗の事例」

報告者：伊藤 嘉浩（長岡技術科学大学）

コメンテーター：大平 進（千葉商科大学）

報告(2)：「媒体が消費者に及ぼす影響 — 紙媒体と電子媒体を中心に —」

報告者：権 純鎬（早稲田大学大学院）

コメンテーター：松本 大吾（千葉商科大学）

テーマセッション1（13:05～15:25）

テーマ：「流通・商業」

コーディネーター：金雲鎬（日本大学）、東伸一（青山学院大学）

研究発表（報告40分、コメント10分、質疑10分、招待講演は報告60分、質疑15分）

報告(1)：「The Effects of Cross-channel Integration on Cost efficiency」

報告者：田頭拓己（東京大学大学院）

コメンテーター：久保知一（中央大学）

招待講演：「オムニチャネルの実践」

報告者：山田貴之（(株)アルペン）

テーマセッション2（15:35～17:40）

テーマ：マーケティングの理論・歴史

コーディネーター：水越康介（首都大学東京）、石川和男（専修大学）

研究発表（報告40分、コメント10分、質疑10分）

報告(1)：「ショッピングセンターにおける最適化戦略に関する理論的課題と展望」

報告者：門傳藍香（首都大学東京）

コメンテーター：東伸一（青山学院大学）

報告(2)：「メーカーのブランド・ポートフォリオ戦略とプライベート・ブランド製造受託」

報告者：浦上拓也（神奈川大学）

-----3月部会研究会-----

【日時】2019年3月9日（土）14:00～17:00

【場所】一橋大学経営管理研究科千代田キャンパス 大講義室

チュートリアルセミナー（14:00～17:00）

テーマ：「マーケティング研究におけるテキストマイニングの活用」

コーディネーター：松井剛（一橋大学）、奥瀬喜之（専修大学）

1. 「解題：マーケティング研究におけるテキストマイニングの活用」（14:00～14:20）

コーディネーター：松井剛（一橋大学）

2. 「KH Coderによる分析の考え方と手順：ハンズオンセミナー」（14:20～16:20）（途中、休憩あり）

講師：樋口耕一先生（立命館大学、KH Coder 開発者）

3. 質疑応答（16:30～17:00）

—懇親会—

関東部会 2017年度部会研究会

-----4月部会研究会-----

【日時】2017年4月15日（土） 15:00～19:00

【場所】法政大学市谷キャンパス ボアソナードタワー25階「研究所会議室5」

【報告者および報告論題】

フリーセッション（15:00～16:40）

コーディネーター：久保知一（中央大学）、原頼利（明治大学）

研究発表（報告30分、コメント10分、質疑10分）

報告(1)：「デュアル・チャンネルにおけるコンフリクトと事前知識の役割」

報告者：石井隆太（慶應義塾大学大学院）

コメントーター：原 頼利（明治大学）

報告(2)：「PB 展開における小売店舗イメージの役割

—重要性高まる宅配サービスの視点を入れて—」

報告者：劉 亜氷（明治大学大学院）

コメントーター：東 伸一（青山学院大学）

テーマセッション（17：00～19：00）

テーマ：「消費者行動」

コーディネーター：新倉貴士（法政大学）、坂下玄哲（慶應義塾大学）

研究発表（報告 40 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

報告(1)：「罪感情を用いたマーケティング～消費者の知覚リスクが与える影響からの考察」

報告者：大野幸子（和光大学）

コメントーター：朴 宰佑（千葉商科大学）

報告(2)：「ID-POS データを用いた高製品関与型バラエティ・シーキングに関する一考察」

報告者：西原彰宏（亜細亜大学）

コメントーター：青木幸弘（学習院大学）

-----6 月部会研究会-----

【日時】2017 年 6 月 17 日（土）14:00-17:00

【場所】専修大学神田校舎 7 号館 731 教室

【報告者および報告論題】

テーマセッション（14:00-17:00）

テーマ：「マーケティング理論・歴史」

コーディネーター：石川和男（専修大学）、水越康介（首都大学東京）

研究発表（報告 40 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

報告(1)：「S-D ロジックの展開と課題」

報告者：木村圭吾（慶應義塾大学大学院）

コメントーター：菊池一夫（明治大学）

報告(2)：「中国における百貨店の生成と発展－外資系小売企業の影響を中心として」

報告者：朱克宇（専修大学大学院）

コメントーター：鍾淑玲（東京工業大学）

報告(3)：「文化的使用価値が顕在化する仕組みの再検討

－E.ウエンガーの「意味の交渉」と文化的透明性の概念を手がかりとして－

報告者：川口高弘（NTT コミュニケーションズ）

コメンテーター：水越康介（首都大学東京）

-----7月部会研究会-----

【日時】2017年7月15日(土) 13:30～17:30

【場所】拓殖大学 文京キャンパス C館5階 C501教室（※2階が地上階です）

【報告者および報告論題】

フリーセッション（13:30～15:20）

コーディネーター：田嶋規雄（拓殖大学）、長島広太（東洋大学）

研究発表：（報告30分、コメント10分、質疑10分）

報告(1)：「中国におけるドラッグストア研究

－メーカーブランド型薬粧店の成長戦略を中心に－

報告者：孫維維（専修大学大学院）

コメンテーター：本藤貴康（東京経済大学）

報告(2)：「サービス・リカバリー経験を通じたフロントライン従業員の学び」

報告者：武谷慧悟（早稲田大学大学院）

コメンテーター：小野譲司（青山学院大学）

テーマセッション（15:30～17:30）

テーマ：「マーケティング・コミュニケーション」

日本広告学会関東部会共催

コーディネーター：安藤和代（千葉商科大学）、橋田洋一郎（専修大学）

研究発表（報告40分、コメント10分、質疑10分）

報告(1)：「日本の消費者の広告一般への態度」

報告者：五十嵐正毅（大東文化大学）

コメンテーター：疋田聰（東洋大学）

報告(2)：「O2Oアプリケーションに対する媒体別の評価について」

報告者：広瀬盛一（東京富士大学）、田部溪哉（城西大学）、峯尾圭（早稲田大学）

コメンテーター：中野香織（駒澤大学）

-----9月部会研究会-----

【日時】2017年9月16日(土) 14:00～17:00

【場所】中央大学 後楽園キャンパス 31112教室（3号館11階）

【報告者および報告論題】

テーマセッション (14:00~17:00)

テーマ:「流通」

コーディネーター:小野晃典(慶應義塾大学)、久保知一(中央大学)

研究発表:(報告40分、コメント10分、質疑10分)

報告(1):「空間的競争モデルの展望—マルチエージェントシミュレーションの可能性—」

報告者:白石秀壽(鳥取大学)・三浦政司(鳥取大学)

コメントーター:田島博和(東京経済大学)

報告(2):「卸—小売間の取引関係開始に及ぼす制御焦点の効果」

報告者:久保知一(中央大学)

コメントーター:丹沢安治(中央大学)

報告(3):「ナショナルブランドとの協働型プライベートブランドに対する消費者の態度形成
とフィードバック効果(仮)」

報告者:神谷渉(玉川大学)

コメントーター:鶴見裕之(横浜国立大学)

-----11月部会研究会-----

【日時】2017年11月11日(土) 13:00-18:00

【場所】青山学院大学 青山キャンパス 14号館総研ビル4階 14404教室

【報告者および報告論題】

フリーセッション (13:00-14:50)

コーディネーター:柴田典子(横浜市立大学)、結城祥(中央大学)

研究発表(報告30分、コメント10分、質疑10分)

報告(1):「時間と金銭の特性差が消費者行動に与える影響 -既存研究の整理と課題-」

報告者:磯田友里子(早稲田大学大学院)

コメントーター:青木幸弘(学習院大学)

報告(2):「買い物アクセス問題を発生させる地域構造特性」

報告者:田口広樹(青山学院大学大学院)

コメントーター:横山斉理(法政大学)

テーマセッション (15:00-18:00)

テーマ:「マーケティング戦略」

コーディネーター：井上淳子（成蹊大学）、横山斉理（法政大学）

研究発表（報告 40 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

報告(1)：「ソーシャルメディアにおける企業と消費者の関係構築とアイデンティティ形成」

報告者：麻里久（首都大学東京大学院）

コメントーター：久保田進彦（青山学院大学）

報告(2)：「カルチュラルブランディングの可能性」

報告者：本庄加代子（東洋学園大学）

コメントーター：木村純子（法政大学）

-----3 月部会研究会-----

【日時】 2018 年 3 月 17 日（土） 14:00-17:00

【場所】 専修大学 神田キャンパス 5 号館 6 階 561 教室

【報告者および報告論題】

テーマセッション（14:00-17:00）

テーマ：「マーケティング・サイエンス」

コーディネーター：守口剛（早稲田大学）、奥瀬喜之（専修大学）

研究発表（報告 40 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

報告(1)：「位置情報と ID-POS データのマッチングによる価格販促効果の理解」

報告者：星野崇宏（慶應義塾大学）

コメントーター：佐藤栄作（千葉大学）

報告(2)：「psychometric function を利用したブランド・イメージの測定」

報告者：上田雅夫（早稲田大学）

コメントーター：生田目崇（中央大学）

報告(3)：「インフルエンサー・マーケティングの効果と収益性に関する研究」

報告者：水野誠（明治大学）、阿部誠（東京大学）、新保直樹（リブセンス）

コメントーター：安藤和代（千葉商科大学）

関東部会 2016 年度部会研究会

-----4 月部会研究会-----

【日時】 2016 年 4 月 16 日（土） 13：30～17：30

【場所】 上智大学四ツ谷キャンパス 12 号館 102 教室

【報告者および報告論題】

フリーセッション（13：30～15：20）

コーディネーター：原頼利（明治大学）、水越康介（首都大学東京）

研究発表（報告 30 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

報告(1)：「広告のクラッター化と消費者の記憶」

報告者：竹内亮介（慶應義塾大学大学院）

コメントーター：中野香織（駒澤大学）

報告(2)：「潜在的組織参加者のチャンネル開発活動に関する考察」

報告者：上元亘（麗澤大学）

コメントーター：結城祥（中央大学）

テーマセッション（15：30～17：30）

テーマ：「消費者行動」

コーディネーター：坂下玄哲（慶應義塾大学）、杉谷陽子（上智大学）

研究発表（報告 40 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

報告(1)：「消費者認識における百貨店および SC の位置づけに関する研究」

報告者：圓丸哲麻（麗澤大学）

コメントーター：酒井麻衣子（多摩大学）

報告(2)：「古楽を事例とした、新製品の正当化プロセスの研究」

報告者：飯島聡太郎（一橋大学）

コメントーター：鈴木智子（京都大学）

-----6 月部会研究会-----

【日時】 2016 年 6 月 18 日(土) 14:00～17:10 （17:40 分から懇親会を予定）

【場所】 早稲田大学早稲田キャンパス 11 号館 913 教室

テーマセッション（14:00～17:10）

テーマ：「マーケティング理論・歴史」

コーディネーター：堀越比呂志（慶應義塾大学）、武井寿（早稲田大学）

研究発表（報告 40 分、コメント 20 分、質疑 20 分）

報告(1)：「サービス・ロジックによる価値共創とマーケティングの概念の検討」

報告者：蒲生智哉（名古屋学院大学）

コメントーター：菊池一夫（明治大学）

—休憩—

報告(2)：「S-D ロジックにおける価値共創ネットワーク

-サービス・エコシステム,制度,A2A の検討を中心にして-

報告者：菊池一夫（明治大学）

コメンテーター：蒲生智哉（名古屋学院大学）

-----7月部会研究会-----

【日時】2016年7月16日(土) 13:30~17:30

【場所】拓殖大学 文京キャンパス C館3階301教室（※2階が地上階です）

【報告者および報告論題】

フリーセッション（13:30~15:20）

コーディネーター：田嶋規雄（拓殖大学）、長島広太（東洋大学）

研究発表（報告30分、コメント10分、質疑10分）

報告(1)：「消費者イノベーターの情報取得に関する実証研究」

報告者：本條晴一郎（法政大学大学院）

コメンテーター：澁谷覚（学習院大学）

報告(2)：「独自性欲求の高い消費者の製品推奨行動

：推奨対象製品と被推奨者の特性に着目して」

報告者：菊盛真衣（東洋大学）・王コウエイ（慶應義塾大学大学院）・小野晃典（慶應義塾大学）

コメンテーター：杉谷陽子（上智大学）

テーマセッション 15:30~17:30

テーマ：「マーケティング・コミュニケーション」

日本広告学会関東部会共催

コーディネーター：石崎徹（専修大学）、橋田洋一郎（専修大学）

研究発表（報告40分、コメント10分、質疑10分）

報告(1)：「日本人の消費傾向の変化とブランドの役割」

報告者：加藤祥子（流通経済大学）

コメンテーター：石崎徹（専修大学）

報告(2)：「読みやすい書体と好ましく感じる書体はユーザ属性で異なる

～感性的評価のマーケティング・コミュニケーション研究への活用の可能性～」

報告者：向井志緒子（千葉大学大学院・日本学術振興会特別研究員）

コメンテーター：橋田洋一郎（専修大学）

-----9月部会研究会-----

【日時】2016年9月17日(土) 14:00~16:30

【場所】慶應義塾大学三田キャンパス西校舎533教室

【報告者および報告論題】

テーマセッション (14:00~16:30)

テーマ:「流通・商業」

コーディネーター:小野晃典(慶應義塾大学)、金雲鎬(日本大学)

研究発表(報告40分、コメント10分、質疑10分)

報告(1):「流通・マーケティング研究におけるQCAの適用可能性」

報告者:横山斉理(法政大学)

コメントーター:小野晃典(慶應義塾大学)

—休憩—

報告(2):「チャンネル関係における価値創造:関係属性、ケイパビリティ、ガバナンス」

報告者:崔容熏(同志社大学)・原頼利(明治大学)

コメントーター:渡辺達朗(専修大学)

-----10月部会研究会-----

【日時】2016年10月22日(土) 14:00~17:00

【場所】中央大学後楽園キャンパス 3号館 3310教室

【報告者および報告論題】

テーマセッション (14:00~17:00)

テーマ:グローバル・マーケティング

コーディネーター:熊倉広志(中央大学)、松井剛(一橋大学)

研究発表(報告40分、コメント10分、質疑10分)

報告(1):「自動車流通と販売金融—ASEAN諸国を事例として—」

報告者:石川和男(専修大学)

コメントーター:嶋正(日本大学)

報告(2):「新興国におけるマーケティング戦略と現地法人の管理」

報告者:福地宏之(東洋学園大学)・山下裕子(一橋大学)・鷺田祐一(一橋大学)・

福富言(京都産業大学)・上原渉(一橋大学)・佐々木将人(一橋大学)

コメントーター:熊倉広志(中央大学)

報告(3):「文化資源の集散地の形成・発展メカニズムに関する研究:日米仏の事例」

報告者:川又啓子(亜細亜大学)

コメントーター:松井剛(一橋大学)

-----11 月部会研究会-----

【日時】2016年11月19日(土) 13:30-18:30

【場所】青山学院大学 青山キャンパス 14号館総研ビル4階 14404教室

【報告者および報告論題】

フリーセッション 13:30-15:20

コーディネーター：柴田典子(横浜市立大学)、結城祥(中央大学)

研究発表(報告30分、コメント10分、質疑10分)

報告(1):「企業資源・能力とマーケティング・チャネルの選択
：統合チャネルと独立チャネルの同時使用を考慮して」

報告者：石井隆太(慶應義塾大学大学院)

コメントーター：結城祥(中央大学)

報告(2):「広告表現の典型性と具体性の効果 ～関与水準による認知の相違～」

報告者：堀田治(法政大学大学院/新国立劇場)

コメントーター：牧野圭子(成城大学)

テーマセッション (15:30-18:30)

テーマ：「マーケティング戦略」

コーディネーター：小野譲司(青山学院大学)、井上淳子(成蹊大学)

研究発表(報告40分、コメント10分、質疑10分)

報告(1):「職業体験施設におけるスポンサーシップ戦略ーキッザニアの事例研究」

報告者：藪部靖史(東洋大学)

コメントーター：李 旻泰(東洋大学)

報告(2):「組織の志向性がマーケティング戦略立案や創造性に与えるインパクト」

報告者：岩下仁(九州大学)

コメントーター：横山斉理(法政大学)

報告(2):「eカスタマイゼーションにおける積上注文型と完成品修正型の
ハイブリッド戦略の有効性」

※(英文校閲費補助対象論文)

報告者：小野晃典(慶應義塾大学)

コメントーター：久保田進彦(青山学院大学)

-----3 月部会研究会-----

【日時】2017年3月18日(土) 14:30-16:40

【場所】 専修大学神田キャンパス 5号館 7階 571教室

【報告者および報告論題】

テーマセッション (14:30-16:40)

テーマ：「マーケティング・サイエンス」

コーディネーター：高橋郁夫（慶應義塾大学）、奥瀬喜之（専修大学）

研究発表（報告 40分、コメント 10分、質疑 10分）

報告(1)：「価格バンドリングにおける値引き手法に関する考察」

報告者：兼子良久（宮城学院女子大学）

コメンテーター：上田雅夫（早稲田大学）

—休憩— (10分)

報告(2)：「行動・心理データの融合による顧客行動分析」

報告者：里村卓也（慶應義塾大学）

コメンテーター：江原淳（専修大学）

—懇親会—

関東部会 2015年度部会研究会

-----4月部会研究会-----

【日時】 2015年4月18日（土） 13時30分～17時20分

【場所】 早稲田大学早稲田キャンパス 11号館4階大会議室

【報告者および報告論題】

フリーセッション (13:30～15:10)

コーディネーター：小野晃典（慶應義塾大学）、原頼利（明治大学）

研究発表（報告 30分、コメント 10分、質疑 10分）

報告(1)：「デュアルチャネルと組織間成果 ——関係論によるアプローチ——」

報告者：石井隆太（慶應義塾大学大学院）

コメンテーター：結城祥（中央大学）

報告(2)：「パーソナル・ファイナンシャル・サービスの諸領域と
マーケティング戦略モデルの構築」

報告者：鷺尾和紀（高千穂大学大学院）

コメンテーター：片野浩一（明星大学）

テーマセッション 15:20~17:20

テーマ：消費者行動

コーディネーター：恩藏直人（早稲田大学）、坂下玄哲（慶應義塾大学）

研究発表（報告 40 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

報告(1)：「支払方法が解釈レベルに与える影響」

報告者：金子充（早稲田大学）

コメントーター：白井美由里（慶應義塾大学）

報告(2)：「使用時における経験価値概念の測定」

報告者：森岡耕作（東京経済大学）

コメントーター：水越康介（首都大学東京）

-----6 月部会研究会-----

【日時】 2015 年 6 月 20 日（土） 13 時 30 分～16 時 00 分

【場所】 慶應義塾大学三田キャンパス南校舎 5 階 455 教室

【報告者および報告論題】

テーマセッション（13:30~16:00）

テーマ：「マーケティング理論・歴史」

コーディネーター：堀越比呂志（慶應義塾大学）、武井寿（早稲田大学）

研究発表（報告 40 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

報告(1)：「アクションリサーチに関する理論的検討—理論と実務の接続可能性について—」

報告者：水越康介（首都大学東京）

コメントーター：薄井和夫（埼玉大学）

—休憩—

報告(2)：「S. D. Hunt の資源-優位理論とマーケティング研究の関連性について」

報告者：松尾洋治（広島修道大学）

コメントーター：関根孝（専修大学）

-----7 月部会研究会-----

【日時】 2015 年 7 月 11 日（土） 13 時 30 分～17 時 20 分

【場所】 専修大学神田キャンパス 2 号館 2 階 204 教室

【報告者および報告論題】

フリーセッション 13:30~15:10

コーディネーター：田嶋規雄（拓殖大学）、長島広太（東洋大学）

研究発表（報告 30 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

報告(1)：「脅威と機会に対する既存企業の競争的反応:その駆動要因の探究」

報告者：中村世名（慶應義塾大学大学院）

コメンテーター：谷地弘安（横浜国立大学）

報告(2)：「google adwords のターゲティング機能が消費者満足に与える影響について」

報告者：チン ホウポ（専修大学大学院）

コメンテーター：松本大吾（千葉商科大学）

テーマセッション（15：20～17：20）

（日本広告学会関東部会と共催）

テーマ：マーケティング・コミュニケーション

コーディネーター：石崎徹（専修大学）、橋田洋一郎（専修大学）

研究発表（報告 40 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

報告(1)：「高効果広告の特徴－物語の観点から－」

報告者：津村将章（九州産業大学）

コメンテーター：田嶋規雄（拓殖大学）

報告(2)：「広告クリエイティブの本質と現代における変化」

報告者：村尾俊一（ニューパラダイム・マーケティング・コミュニケーション研究所）

コメンテーター：中村洋心（中村洋心事務所）

-----9 月部会研究会-----

【日時】 2015 年 9 月 19 日（土） 13 時 30 分～16 時 00 分

【場所】 慶應義塾大学三田キャンパス 東館 8 階ホール

【報告者および報告論題】

テーマセッション 13：30～16：00

テーマ：「流通・商業」

コーディネーター：小野晃典（慶應義塾大学）、金雲鎬（日本大学）

研究発表（報告 40 分、コメント 10 分、質疑 10 分）

報告(1)：「小売業における市場志向研究の現状と課題（仮）」

報告者：坂川裕司（北海道大学）

コメンテーター：金雲鎬（日本大学）

—休憩—

報告(2)：「小売の輪はどのように回転したのか？

－小売業態イノベーションのマルチレベル分析－

報告者：久保知一（中央大学）

コメンテーター：横山斉理（日本大学）

-----11 月部会研究会-----

【日時】2015年11月14日（土） 13時30分～17時30分

【場所】中央大学後楽園キャンパス・3号館3階3300教室

【報告者および報告論題】

フリーセッション（13：30～15：30）

コーディネーター：柴田典子（横浜市立大学）、結城祥（中央大学）

研究発表（報告30分、コメント10分、質疑10分）

報告(1)：「小売業者間の近接競争と店舗成果の関係－総合スーパーを対象とした実証分析－」

報告者：西川みな美（中央大学大学院）

コメンテーター：金雲鎬（日本大学）

－休憩－

報告(2)：「中国ドラッグストア業態の実態と成長要因－ワトソンの事例を中心として－」

報告者：孫維維（専修大学大学院）

コメンテーター：東伸一（青山学院大学）

テーマセッション（15：30～17：30）

テーマ：「グローバル・マーケティング」

コーディネーター：熊倉広志（中央大学）、谷地弘安（横浜国立大学）

研究発表（報告40分、コメント10分、質疑10分）

報告(1)：「食品企業の国際マーケティング戦略－在中韓企業の実例を中心に」

報告者：金炯中（静岡産業大学）

コメンテーター：丸谷雄一郎（東京経済大学）

－休憩－

報告(2)：「日系グローバル企業における現地マーケティングの陥穽（仮）」

報告者：犬飼知徳（中央大学）

コメンテーター：太田真治（中京大学）

-----12 月部会研究会-----

【日時】2015年12月19日(土) 14:00-17:30

【場所】青山学院大学 青山キャンパス 17号館3階 17310教室

【報告者および報告論題】

テーマセッション (14:00-17:30)

テーマ:「マーケティング戦略」

コーディネーター:小野譲司(青山学院大学)、井上淳子(成蹊大学)

研究発表(報告40分、コメント10分、質疑10分)

報告(1):「現代日本企業におけるイノベーションの組織と成果

:PDMAによるCPAS日本版の調査内容と分析結果」

報告者:川上智子(早稲田大学)、藤井誠一(立命館アジア太平洋大学)、李根熙(立命館アジア太平洋大学)、中村友哉(広島大学)

コメントーター:久保田進彦(青山学院大学)

報告(2):「知識をマーケティングするには」

報告者:富田健司(同志社大学)

コメントーター:三浦俊彦(中央大学)

報告(3):「Organizational Ambidexterity 研究のメタアナリシス」

報告者:石田大典(帝京大学)

コメントーター:高田英亮(慶應義塾大学)

-----3月部会研究会-----

【日時】2016年3月12日(土) 14:00-17:30

【場所】専修大学神田キャンパス5号館4階542教室

【報告者および報告論題】

テーマセッション (14:00-17:30)

テーマ:マーケティング・サイエンス

コーディネーター:守口剛(早稲田大学)、奥瀬喜之(専修大学)

研究発表(報告40分、コメント10分、質疑10分)

報告(1):「『両利き』の市場学習が新製品成果へ及ぼす影響」

報告者:石田大典(帝京大学)

コメントーター:西川英彦(法政大学)

報告(2):「生鮮食品における価格変動とロイヤリティ(仮題)」

報告者:太宰潮(福岡大学)

コメントーター:江原淳(専修大学)

報告(3)：「ビッグデータの購買トピック分析」

報告者：里村卓也（慶應義塾大学）

コメンテーター：朝野熙彦（中央大学）